

ことばの ポケット

文章読解力にも影響!

文章で話す良さ!

普段のお子さんとの会話、主語述語で話していますか? 日常会話の中で意識して文章で話していると、語彙力が身に付くだけでなく、いずれ学ぶ国語や算数で必要な文章読解力にもつながっていくと言われています。

つしをおすすめ!



1 年齢別 こんな話し方をしてみよう!

- 0歳～1歳… 表情豊かにおおげさに2語文以上で話す
「喉が渴いたね」「お外に行こうね」など
- 1歳半～ … 子どもが喋った言葉に文章をつけて返す
「わんわん!」「わんわんね、ふわふわして可愛いね」
「りんご!」「りんごね、赤くて丸いね」など
- 3歳～ … 意識して文章の会話をしましょう
「今晚は何を食べたい?」「カレーが食べたいな」
「ぼくは今晚、ハンバーグが食べたいな」

2 ももし!? 電話ごっこでおしゃべり!

積み木を耳にあてて「ももし?」と電話ごっこでは、子どもの質問に、大人は文章で答えましょう。

「今何していますか?」

「今、台所でキャベツを切っていますよ」

大人が文章で話すと、子どもも文章で

答えるようになっていきます。

ぜひお試しください!

ママは野菜を
炒めていますよ!



ぼくはこれから
絵本を読むよ～

